

マンボウを食べてしまった 海の男たち

坂本賢二〔神戸商船大学教授〕多田智満子〔詩人〕



「瀬戸内海は船乗りにとっては世界的な難所なんですよ」坂本賢三さん

坂本 遣唐使の頃の船がどんな船

だったかは、本当のところ全く分らないんですよ。教科書などにはよく遣唐使船の絵がありますが、あれは室町時代の絵巻物から想像して描かれたもので時代が下ります。私も最初、当時の船がよく難破したのは、航海技術が幼稚だったからだと思っていました。しかし当時は例えば日本から中国へ行く場合でも、一挙に渡ってしまわないと水や食料がもたないんです。今なら冷凍庫もあって少々漂流しても平気ですけどね。それに帆船は当然ながら風がないと動かないでしょう。それでいつも嵐を

待ってそれに乗って行くわけです。そうすると、難破しやすくなってしまうんですね。

多田 そうだったんですか。私も本で読んでいましたらわざわざ嵐の時期をめがけて出かけては遭難しているから、何か理由があるんだろうと思っていました。当時は古代の西洋のガレー船のように漕いで行くことはやら

遣唐使の頃の船がよく遭難したわけ

多田 日本は四方が海に囲まれていて、昔から船の技術は発達していそうなものなのに、遣唐使の頃の船などは案外幼稚なものだったようですね。しょっちゅう難破していますし…。

なかったんですか。

坂本 宮崎県の西都原（さいとげん）の古墳から出土した船の模型は、「かい」で漕ぎ型のものでした。おそらくそういう船で渡ったこともあったんでしょうね。でも遣唐使の船は「かい」で漕いだ記録がないんですよ。

多田 じゃあ、本当に危い旅だったんですね。

坂本 そうですね。オールで漕ぐのも瀬戸内海とかだったらいんですけど、外洋では難しいでしょうね。というのは、日本近海は地中海などと違って世界の海の中でも、特に荒れるところなんです。そんな荒れた海に囲まれていたから、余り外洋へ乗りだすこともなかったしオールも使えなかったんでしょうね。

多田 それで一つは海に守られて外から攻めこみにくかったんでしょうね。ギリシャ神話にアルゴ船遠征の話がありますが、アルゴ船に乗った英雄たちが自らオールで漕いで行きますね。アルゴ船はエーゲ海からヘレスポントス海峡を通って黒海の東の端コルキスまで行っただけですが、その際に岩がぶつかり合って船を潰す

「打ち合い岩」とか色々おっかない話が出てきますね。坂本 あその水道は狭くて、難所だったので、そんな話が色々でてきたんだと思います。

多田 エーゲ海を地図で見ると、狭い内海だなあと思うんですが、古代人にとってこの内海を渡って行くことは大変なことだったんでしょうね。

坂本 今でも大変なんです（笑）。あそこは島が沢山あるために航海しにくいんです。潮の流れがしょっちゅう変ったり、暗礁があったりしますからね。かえって太平洋みたいは何もない所だと、風の吹くまま航海すればいいわけで、例えば北緯20度あたりだといつも東風が吹いていて、ハワイからの帰りなど何もしなくても日本近くまで連れて帰ってくれるんですよ。ところが途中に島が沢山あると、風まかせにできないんです。

多田 素人考えですと、島づたいに行っただ方が、食料の補給も出来て良さそうに思えるんですけど（笑）。

坂本 適当に島があるのはいいんですけどね。ですから瀬戸内海なんか、世界的に見て島が多いという点で難所なんです。だから、来島海峡や関門海峡では必ず船長がブリッジに立って指揮をしないとイケないことになってるんです。

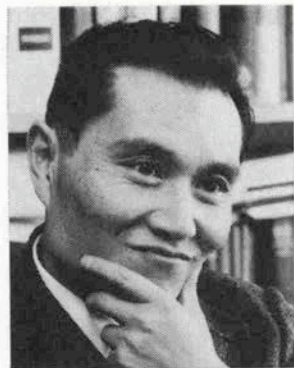
多田 すると、奈良時代に中国から船が来て瀬戸内海を通り、大和川を上ってくるなんて大変なことだったんですね。

坂本 だから必ず水先案内人がいたんです。江戸時代ですと朝鮮使が毎年来ていたんですが、皆水先案内人がついていました。そうしないとよく難破してましたね。

多田 今でも水先案内人っていうのは大変な資格なんだとききました。



「昔は本当に危い船旅をしていたんですね」多田智満子さん



坂本 船長のうちのベテランで、豊かな経験がないとだめですね。

日本語のルーツがポリネシアだという説

多田 近頃日本人のルーツのことがよく話題にのぼりますね。よく南の方からカヌーで渡って来たとか。ヘイエルダールがコンテイキ号で実験したように、潮流に乗って楽々日本列島に辿り着いたんでしょうか(笑)。

坂本 南から来たか、北から来たか、その辺は大きな問題なんです。台湾あたりから東へ出て黒潮に乗れば、いやでも日本に着きますね(笑)。ポリネシアの島々は山の人が住んでいて、ほとんど同じ言語を話しています。つまり一民族がバーツと散らばったわけです。この民族はインドネシアの方から渡って行ったということが、考古学的事実として明らかにされています。

多田 アメリカのインディアンとポリネシアに住む人とは人種は違うんですか。

坂本 違いますね。ポリネシア人は人種的には地中海人種に近いんです。といっても必ずしも地中海から来た人ではないんです。

多田 つまり、アーリアンでもセムでもハム族でもない人種…。

坂本 割と額の角度が高く、鼻も高く、髪も目も黒い。彼らはニューギニアの奥地に住む人やアフリカに住む人達と違いますね。

多田 むしろ日本人に近い…。

坂本 そうですね。日本人よりもヨーロッパ人に近いと言えますね。民族が移動する場合というのは、どうも行きやすいところへ乗って移動して行くのでなく、帰りやすいところへ行くみたいです。太平洋だったら点々としか島がないから、一度出かけたら帰れるかどうか分からない。でも潮流や風に乗ると帰って来れる、その帰って来れる方向へ皆散らばっているんですよ。ヘイエルダールとは逆に、ポリネシア人は初め、フィジーやサモア辺り、それからだんだんとタヒチやマルケサスやハワイへ、西から東へ散らばった。それは結局、風や潮の流れと逆の方向へ行ってるんです。帰りやすい方向へ行っているんですね。ですから黒潮に乗るとすぐ日本に来れるからって言っても、目指して来たかどうか分らないですね。

多田 柳田国男さんは南から来たといわれていますが…坂本 北から来たという説もありますね。一般的に日本語の文法構造は朝鮮語、満州語、蒙古語などと似ていて北から来たと言われますが、単語を取りあげてみると、インドネシア語やポリネシア語と共通したのが沢山ありますね。例えば、船のことをフィジー語で「ハワニカ」と言いますが、古事記や日本書紀に「ハワニ」という単語が沢山出てきます。この「ハワニ」を「ハ」船「ニ」の意にとると筋の通ることが多いんですよ。例えば「因幡の白兔が「ハワニ」を並べて渡って行った」というのも、船を渡

って行ったと言えば理解できる。この説は有力です。

船は死者の魂を別の世界へ連れて行く

多田 近年エジプトのギザにあるクフ王のピラミッドのそばの地中から巨船が発掘されたと聞きましたが…。

坂本 あれは確か船の形をした棺桶でしたな。

多田 エジプトでは、死後の魂が太陽神ラーの船に乗って天地を回るといふ言い伝えがあるようですが、それにしてクフ王の船は43メートルもある巨船だそうです。

坂本 お墓にピラミッドを建てるくらいですから(笑)、エジプトの王様の魂ってよほど大きいと考えられてたんじゃないでしょうか。つい最近まで和歌山の辺で、死者を焼いてから土に埋めずに水に流すという葬り方があったそうですね。

多田 普陀落信仰というのが紀州の熊野で特にさかんだったのですが、南へ向って船で何十日かいったところに普陀落山という観音浄土がある、と信じられていました。それでお坊さんの死期が近づくと、水と少しの食料を与えて船に乗せ、外に出られないように釘づけにして海に流す。お坊さんはお経を唱えながら流されていき、観音浄土に往生するという(八)普陀落渡海Vというのを、代々の住職さんが実行していたそうです。こうして船で往生するという信仰は至る所にありますね。

坂本 やはり別の世界は船でいくということなんでしょか…。



多田 彼岸という言葉からしてそうですな。川にせよ海にせよ船で渡らないといけない…。いつだったか映画で見たんですが、バイキングが死んだ王を帆船に乗せて海へ送り出し、その帆を目にかけて火矢を放つんです。やがて帆が燃えだして、船が沈んでいくのですが、もしこれが本当だったら、ずいぶん素敵なお葬式だろうと思いましたが…。

坂本 実際には船のまま土中に埋められているものが沢山あって、最近になって発掘されているものもありますね。海っていうのは陸から見るとロマンティックなんです。海上生活というのははきびしいもので、死んだ人もやはり故郷へ埋めるといのが実際のところは多かったですね。

マンボウを食べたという話

多田 坂本先生は帆船に乗って遠くへ行かれましたか。

坂本 4年位前に日本丸でハワイまで行きました。

多田 それは全く帆の力だけで行かれたんですか。

坂本 大体そうなんです。例えば大阪湾みたいなところでは帆を張るのは危険で、帆を張った船は容易に方向転換できませんからね。ですから帆船の優雅な姿はこの辺では、特別な場合を除いてちよっと見られませんか。

多田 和歌山から相模湾へ出てはじめて帆を張るんですよ。

坂本 そうですか。私も一度帆船に乗ってみたいですね。女性を乗せたことはまだないんじゃないかな(笑)

多田 (笑)でも帆船の中ではよほど身軽でないといけないでしょうね。

坂本 帆船は走っている時はかなり傾いていますし、甲板は海水で濡れてますから上手く歩かないとすべっちゃうんですよ。すると結局ポバイみたいな歩き方になって…(笑) シーマンズ・ウオークと言って、昔は船乗りかそうでないかは歩き方で分ったんで、多田 愉快ですね(笑)。ところで、何十日も船にいらしたら、色々珍しい鳥や魚も見られますでしょう。

坂本 そうですね。凶鑑にも載っていないような珍しい動物にも出会いますね。イルカやアホウドリの大群もいますし、マンボウも捕えましたよ。マンボウは海の深い所にいるんですが、時折水面に出てきて目蓋を開けたら閉めたりしてポーツと昼寝をしている。我々に気がつくとか潜ってしまうんです。このマンボウをポーツを降ろしてロープで取りに行くんですが、それがちょうど緊急の時にポーツを降ろして救助に行く訓練になるわけです。だからマンボウを見つけたら「救助用意！」って言って追いかけていくんです(笑)。船の上から「救助したか」とか聞いたりしてね、するとポーツから「逮捕しました」なんて言ってくる(笑)。

多田 楽しそうですね(笑)。でもマンボウってずいぶん大きいんじゃないですか。

坂本 約二畳分ぐらいです。マンボウなどは船に乗らなないと食べられないです。



日本丸での珍しい体験談など話題は尽きない

多田 マンボウを召し上ったんですか?! 坂本 そのまま捨てるのは勿体なくて食べました。生で醤油をつけて食べたんですが、すごく美味しかったですよ。学生達は気味悪がって食べませんでしたけれど…。カニとイカとの間のような味で、マンボウはクラゲしか食べないせいか、2時間も経つと水っぽくなって味がなくなってしまうんです。

多田 船のコックさんは料理してくれないんですか。

坂本 船の賄っていうのはすごく見識があつてなかなか庖丁を貸してくれないんですよ。庖丁が汚れるって言ってね(笑)。だからシー・ナイフで切りました。でも2畳もの大きさですから、食べがいがありませんでしたよ(笑)。

多田 しかもそれを2時間以内に食べなければならぬとなると大変ですね(笑)。船では大体どんな食事をされるんですか

坂本 出帆の日の昼食は必ずカレーライスです。でも夜は尾頭付きがでたり次の日はビフテキだったり。日本丸の食事は特に美味しいんです。しかも当直があるので1日4食ですから、帰って来た時は5kgも太っていました。

多田 かなりの食料を積んでいられるんでしょうね。

坂本 大体一年分位の食料を積み込んでいるのではないのでしょうか。その航海の時は特別に、ハワイ島のコナへ寄ったんですが、島の日系人が珍しいことだと大歓迎してくれて、牛を一頭寄贈してくれました。そんなのがパツとはいる冷凍庫があるんです。

多田 すごいですね。3か月も生活された日本丸の思い出は尽きないでしょうね。

坂本 ええ、もし日本丸が神戸に誘致されたら、こんな嬉しいことはないですね。(神戸商船大学にて)

古陶器の逸品で味わう季節の風味…

岡本界隈のシャレた雰囲気の中にある「山形や裕久」は一風変わった店だ。ご主人の山形さんは昔からの古陶器愛好家で仲々の眼の持ち主。紹介して頂いたのは、伊万里雲龍図中皿、藍九谷屏風に椿図、なます皿葡萄に蝶（スープ皿）、蛸唐草蕎麦猪口（小鉢）、伊万里鳳凰図飯茶碗、古伊万里れんげ丸紋、九谷徳利といずれも逸品揃い。飾っているだけではなく実際に使えるのが嬉しい。古陶器の好きな人には料理だけではなくプラスアルファが楽しめるまたとない店と言える。



※コース（皮、ズリ、きも、ねぎ身、ミンチ、野菜2種類）の他に、初夏の味覚として五目山菜詰めなどの美味しい季節となりました。



焼鳥 釜めし

山形や 裕久

神戸市東灘区本山北町3-11（本山市場東）
 (阪急岡本・国鉄摂津本山各駅から徒歩3分)
 電話(078) 452-2905 午後5時-10時 月曜休

山形や裕久コレクション・7

醫 牙 岩

徳 留 節
繪 / 犬 童 徹



老婆を見た。継ぎはぎのあつた衾がふるえている。いくつぐらいだろう。……八十は過ぎてゐるかもしれない。

——みんなが辰吉は戦死したと言ひよるけれど、わたしは信じなかつた。わたしはあなた様の御告げだけを信じ、墓もつくらず、辰吉の帰ってくるのを待ちまゝに居ました。あなた様の御告げはほんとうでした。わたしも、毎日お参りしたかゝりがあったというものです。ありがとうございました。ありがとうございました。願ねがをかなえてくださうございませぬ。これ以上の極楽はありません。

岩は鋭角の髪をいくつも走らせ、髪と髪の間で老婆の声を反響させる。私は夢をみているのだと思つた。私は、いま会社で算盤をはじいてゐる。私の脳波は算盤の音に触発されて岩をえがきだし、ひとりの老婆をうつつ出した。岩は神だ。神に祈る老婆。……私はこの国のいたる所で岩に祈つてゐる老人たちの群を思ひうかべ、恐怖した。

——御神岩様ごしんがさま、あなた様がこの辰吉をお召しになつた時には、ここで辰吉と一緒に泣いたものでございます。なぜに、辰吉をわたしからおとりあげになるとだ、と正直申しあげましてあなた様を怨んだものでございます。こうしてかえして下さるとわかっています、やほ

りわたしも人の親、たったひとりの息子までおとりあげになると……この子はけなげにも言うたものです。おらには御神岩様がついとるから絶対死なん、と。じゃが、わたしにはわかっておりました。あなた様はこの辰吉の命を必要になさっていなさると。そして、めめしく泣きすがっているわたしがどんなに罪ふかいことをしてかしているかということも。……この村に生まれたからには喜んであなた様に命をささげなければならんと、みんなみなわかっっておりましたが、じゃが、たったひとりの息子を手放すのは……それでわたしは毎晩、毎晩おすがりしたのでございます。いつもあなた様はすぐにかえずと御告げなされた。じゃが、辰吉と一緒にお召しになった源も安もおかえしになつたのに、うちの辰吉だけおかえしにならないなんて……わたしは初めのうちこそお怒み申しあげましたが、辰吉をかえしてくださらないのは、わたしの信心がたりないからじゃと気づいたのでございませう。なあ、と老婆は顔をあげ、私を見た。額から砂がこぼれ、皺に赤い斑点があらわれた。もう、なみだは乾いている。なあ、辰吉、御神岩様はちゃんとお約束をお守りになった。それもな、わたしに夢の中でお告げになつてな。おとといの晩じゃ、おまえがな、ここに、この御神岩様の前にひざまずいちゃうのだ。ああ、ちようどこんなふうじゃつた。そしてなあ、御神岩様が言いなさるのじゃ。……シズ、長い間すまなかつた。辰吉はやつと仕事を終えてくれたので、もうすぐかえすぞ、となあ。びっくりしてなもう、それで、きのうからずつと夜通しこうして待つちよつたのじゃ。やはり、御神岩様のお告げなさるとおりじゃ。ほんとによく帰つてくれた。ほんとうに……

老婆は私のひざに顔をふせ、また泣きはじめた。私の怒りはすつかり萎んでいた。私はどうしていいかわからず、老婆の背を見、岩を見る。岩の後には赤く染まつた鋭い雲が水平に走っていた。岩は黒い魂となって雲々に闇をふきつけはじめた。

——さ、お婆さん、もう帰らう。

——う、うん。辰吉、ほんとうによく帰つてきてくれた。おつ母はんはどんなにうれしか。ほんに、おまえが出て行くときの顔が眼にこびりついていてなあ……。

私は老婆をおこす。老婆は私に倒れかかり、わずかにのこっていた両手の力が消え、体重がのしかかつてきた。老婆は私の胸に顔を押しつけるような格好になった。私はあわててゆする。老婆の目はとじられ、歯のないう口が小さくあく。お婆さん、お婆さん、と私は老婆をあおむけにして、ゆする。う、と老婆の朽ちた花びらのような臉がひらき、あ、辰吉、と小さくつぶやいて、また目を閉じた。

岩はすつかり光をさえぎり、広場を影で覆つてしまつた。風が強まり、獅子となつた岩は咆哮しはじめた。もういちど老婆をゆする。老婆は恐れるように目をひらき、私をたしかめると、すぐ閉じた。私は老婆を背負つて村まで降りていくことにした。起こすと、老婆の体中から退化した皮膚にしみついた汗の臭いがわきたつた。私は息をつまらせ、老婆を坐らせる。倒れないように肩をささえながら後向きになり、老婆を背にもたれさせる。力を失つた老婆の顎が私の左肩にのつた。立ちあがる。まるで発砲スチロールの切れ端を背負っているみたいだ。老婆がもぞもぞと動いた。

——辰吉、

——えつ。

——ほんとうに辰吉じゃのう。ほんにやさしいところは昔とひとつもかわらん。

——え、まあ。

——ほんとうによく帰つてきてくれた、待つたかいがあった。御神岩様、ほんとうにありがとうございました。私は黙つた。老婆の顎が肩にくいこんでくる。急に老婆の体重がうつとしくなつてきた。

——早よ帰つてお父っさんに知らせなくちゃ。お父っさんも、きつと、喜びなさるわ。なあ、辰吉。お父っさ

んのことを憶えているか。

— え、……

— あれはおまえが小学校に上がる前の年だったなあ御神岩様の祭りの神輿で怪我して……お父っさんのときは、御神岩様の思召しとあきらめもついたが、なあ、おまえまで連れて行かれるとは理不尽というものじやて絶対、かえしてくださると信じていたよ。お父っさんがなあ、生きていなさればなあ、どんなに喜びなされることか、なあ、辰吉。

— ああ、

ぼくの父は今でも元気で、定年を気にしながら生きてるよ、と言いかけて口をつくむ。

— おまえも苦労したろうな。源が帰ってきたとき、おまえのことをきいたとよ。南方の、なんて言うたかなあ、あの島、なあ辰吉。

— ルバンゲ島？

— うんにや、もつと長つたらしい名前だったがな、そこで源はおまえと偶然にあつて、なんでも芋畑つくつとつたとなあ。なんで鉄砲かついで芋なんぞつくるとな、とみんなして笑つたもんじゃがのう。芋をつくるのなら、この村で、このおっ母んとつくれば良かとに、ほんとにまあ御神岩様もへんなことをしなされるとなあ。じゃが、御神岩様は御神岩様の考えがあつてのことじゃつたところ、なあ？

— ああ、

— そいからな、安はな、死んだど。おまえとはいちばん仲が良かったのになあ。なんでもシベリアという小使も凍るような所につれて行かれてな、あれはいつだったかなあ、みんな、もう死んだるとあきらめているところにひよっこり帰ってきてなあ、そいがしばらくは挨拶まわりやなんやらで顔を見せていたがな、牛小屋の二階にとじこもつたきり出てこん、そんなことが三年も続いたかや、とうとう鎌で首掻いて死んでしもた。源の言うことにはな、安は支那人をようけい殺しおつてな、そい

で怨霊にとりつかれて気が狂つたとなあ、恐かことよ、わたしはおまえのことが心配でなあ。人を殺すよりは芋をつくつとる方が良かと、なあ辰吉。

— 源はどうしたの

声が出た。不意だった。私は自分の声であることを疑った。老婆はその声に答えていた。

— あれは、元気よお、えらい出世してな、准尉様になつて帰ってきてよ、それもこの御神岩様のおかげじやと、それはそれは大変な信心ぶりよ、わたしが毎日参つていると知つて、まあ良くめんどうをみてくれること……そや、家についたらまっさきに源にお礼言わんにやあな。

— ああ、

— じゃが、源も近ごろは憂うつなことよ、なんでも町の奴らが御神岩様を売り物にしてな、都会から人を呼ぶとな……源でなくとも、このわたしだって腹がたつとよ、こうしておまえが帰ってきてくれたからいいものの、ほんに今まではどんなにわたしの神経を逆撫でしたことか。おまえのことを言うと、さすがに町の奴らもちよつとは遠慮しよるがな、これでまたなんやかんやと言うて来よるよ。じゃが、それはなんことじや、この村があるかぎり、御神岩様はいつまでも御神岩様じや。あいつらは都合のいい時にだけ御神岩様をかつぎ出しよつて、今までどうだった？なあ辰吉、人手がないいたら何んたら言うて、もう十年も祭りもやらんし、注連縄ひとつ作らん。草一本とらん、今じゃ御神岩様の掃除は源とわたしだけしかせんとよ、じゃのに町の奴らは御神岩様をタネにして金もうけばかり考えとる。まったく信心の無か者の考えることには腹が立つ。なあ辰吉、おまえも町の奴らがなんと言うてきてもきく耳を持つなよ。

— ああ、

老婆は全身で息をしている。老婆のおながが私の背にゆつくりと触れ、はなれ、触れる。すでに松林の中はうす暗く、樹々の間から見える海もきらめきを失つていった。岩は、松にさえぎられて、見えない。でも私は、高

い天空からみつめられているようで足の運びがぎこちなく感じるのだった。老婆は、弾んでいた。話に熱がこもってくると私の両肩にある両手に力を入れてずり上がりが私をのぞきこもうとする。そのたびに私は重心を失ってつまずきそうになり、老婆は重心をとりもどそうとして、さらに痛いほど私の肩をつかむのだった。そのうち老婆の手から力がひき、体重が湿ったタオルのように私の背中にへばりついてきた。寝息が、私の右の耳を襲っては、ひき、襲う。やれやれ、と思った。同時に腹立たしくもなってきた。まったく人がいいにもほどがある。どうして私はこんな山の中で見も知らない老婆を背負っていないければならないのだ。ほうり出せ、ほうり出せ、という声がかきこえる。でもその声が高まるほどに私の両手は老婆のひしゃげたお尻をささえ、足は村へと急ぐ。なぜだろう、旅のちよっとしたハブニングに酔っているのか、それもあるだろう。敬老精神か、私は思わず苦笑した、老期に入った両親を思うかべたからだ。私は自分の両親にさえ優しい声のひとつ、親孝行のしぐさのひとつ

つしてやっていない。両親は両親で生きていくのが必死だし、私も必死だ。たとえこうして悪かれたように旅に出て、疲れきってあの街に帰り、旅のうずきを身の奥にもったまま算盤にむかい、夏日の中のドラライアイスのように若さを消耗していく、というような全くやりきれない生を生きていようと、それはやはり必死であった。

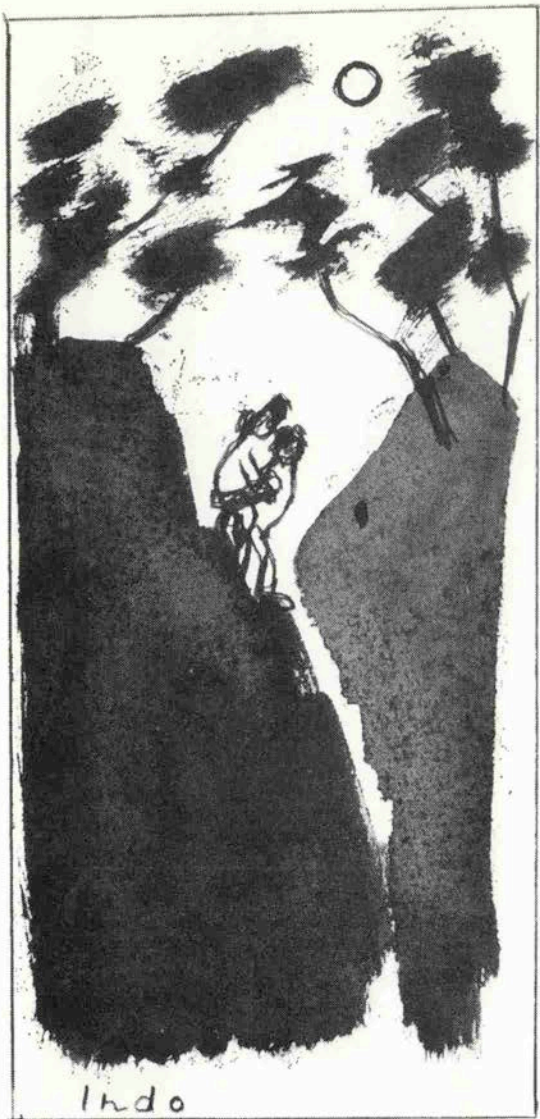
——辰吉……

寝息から這い出るような声だ。

——なんだい、

私のその一言は、老婆の三十余年の空白を満たすに充分であったかのように、寝息に安堵した確かなリズムを加えた。私は、その寝息に歩調をあわせている自分を知る。あの岩を媒体として、老婆の胸に生きつづけた辰吉への興味が、しだいに私の腹立たしさを押さえているのだった。

松林がまばらになった。潮騒が近づく。バス道に出た。ふりかえると、岩は空いっぱい鎮座していた。昼間、



鳥のように見えたその巨体は闇を吸い込んで黒く、夜はそこで凝固していた。村の家々は蟹のように怖じけついで樹々のさらに暗がりへ引きさがり、小さな明りをちらつかせて岩への服従を誓う。明りのなかでは人々の弱々しい気配がゆらめき、それはいま、場違いなほど平和だった。煮付物のおいが私の旅の心をよびました。牛が私の足音をききとがめて、ひくく鳴いた。老婆をずりあげてみる。ごろりと顎が肩からはずれ、もぞもぞと元の居心地を求める。起きそうにもない。

私は、昼間道をたずねた男の家にいくことにした。あの男が老婆のいう源にちがいないと思つたからだ。門をくぐる。足音に竹藪のすずめたちが騒ぎたち、鎮まつた。開け放された家の中から淡い海の光と潮風がそよいできて、私をほっとさせた。

誰かが立ちあがった。

怪訝そうに眉をよせた女の顔が光をさえぎる。男も女のうしろから顔をのぞかせた。

——あなたは昼間の、と私の背をさぐり、シズ婆、どうしたんと、と大声をはりあげた。その声で、老婆の体にびくっと力がいり、私の肩が急に軽くなった。

——あ、源、辰吉がもどつたぞ！辰吉がもどつたぞ！老婆は叫び、私を引き刺ぎ、男にだきついた。源と女は顔を見合せ、同時に私を見やる。

——どうも私を辰吉さんとかいう人と感じがいさされているようです。

——シズ婆、しっかりせい！

男は老婆の両肩をゆすつた。老婆が顔をあげた。山のうでの表情のままだ。

——源、おまえも喜んでくれ、なあクミさん、あんたもよく見てくれ、辰吉だ、辰吉なんだよ。御神岩様が辰吉をかえしてくださつたのじや。

老婆は弾かれたように源からはなれると、クミに抱きつき、顔を見あげる。沈黙が襲つた。老婆は口を小さくあげたまま、硬張つたように動かない。

——何を言うかね、この人は辰吉さんじゃなかがね。
——そうだ、シズ婆、辰がこんなに若いはずがないだろ、な、よおく見る、辰はおらより三ツ下だ、この人を見る、二十そこそこじやがな。

——うんにや、何を言うかね、源、クミ、あんたら辰が帰つたら自分の立場が悪くなるから、そう言うるとかね、この婆はそんな見のせまいことはないぞ、辰だつてそんなふうには育ててはおらん、なあ辰、と老婆は私に同意を求め、私が思わずうなずくとにつこり笑つてふたりを見、辰が今どき帰つたのが悪かつたことじや、あんたらふたりにはなんにも悪かことはない、辰の嫁はこのおっ母んが責任をもつて捜す。

ふたりは老婆と私を見比べて笑おうとしたが、すぐ頬をこわばらせた。私も笑いだそうとし、老婆の目とあつてしまい、笑いをかき消す。

——クミさん、何んも心配することはなか。あんたは、ちゃんとわたしに筋を通した。源と一緒になれと言うたのは、このわたしじや、なあ、と老婆は私に歩みよつて手をとり、のぞきこみ、辰、ごらんのとおりにじや、クミさんは源の嫁さんになつたとよ、仕方がなか、それでもなあ、クミさんは十年も待つたのだよ、なあ辰、待つ者の身にもなつてみい、まして女は年よりもどんどんふけていく、な、かんにんしてくれ、おまえも男じや、な、辰吉……

老婆の声がなみだに萎れていく。彼女は私の両手をにぎりしめたまま自分の額に押しつけた。私はどうすることもできない。ふたりを見る。ふたりとも私の両親と同じぐらいの年輩だ。

女は遠慮深そうにくぼんだ目と、潮風の中で張りつめて、皺をよせつけないまるまつた頬を持っていた。

(つづく)

★神戸っ子トラベルコーナー

★京のお茶室めぐり2日間
 出発日/5月23日、27日の毎日
 費用/1人当り¥22000(1人
 人で1室利用)、¥21,000
 (2人、3人で1室利用)

集合/京都駅八条口・東待合室13
 :10

ホテル/京都国際ホテル

内容/第1日目、京都駅八条口↓
 八幡 松花堂(茶室と展示場)↓
 墳地)↓水無瀬神宮(澄心席)↓
 妙喜庵(待庵) 特別拝観↓ホテル
 第二日目、ホテル↓大徳寺・聚光
 院、千利休墓↓高桐院(抹茶接待)
 ↓等持院(青蓮亭) ↓昼食↓藤田
 別邸(特別拝観) ↓仁和寺特別拝
 観↓京都駅八条口⇨回送⇨ホテル
 解散

パンフレット御希望の方は勤務者
 共済費33119572まで
 お申込みは藤田親光大阪営業所
 電話06134412515

talk and talk



<神戸っ子愛読者サロン>

★花冷えですが戸外では花々が美
 しく咲き誇っています。
 神戸っ子3月号、4月号楽しんで
 拝読しました。

3月号の「エトランゼの輪郭」
 に、しかし私は西洋人だからと
 いって西洋人らしい描き方はしな
 い。とっっても大事なことだと思

★北海道・道南ロマンの旅5日間
 出発日/6月11日、15日(4泊5
 日)

行程/三ノ宮16時18分発→大阪17
 時15分発(車中泊)→青森8時
 41分着→函館1時5分着→1(函館
 市内観光)→湯の川温泉(泊)→
 (大沼公園・洞爺湖・昭和新山)
 ↓登別温泉(泊)→(白老アイヌ
 部族・支笏湖・札幌市内めぐり)
 ↓札幌(泊)→千歳空港14時頃出
 発→大阪空港16時30分頃着
 募集人員/30名
 費用/¥120,000

お問合せ・お申込みは三ノ宮駅旅
 行センター電話078122110
 190

★オリエンタルホテル
 ディナーセット

期間/4月1日/年間設定
 費用/¥7,200
 対象/アベック(2名以上)

います。

モデルの方のやさしさがにじみ
 でていて美しいと思いました。
 また、私の意見、神戸で国際
 交流の輪のアンドレ・ブリュ
 ネ氏が語る偏見のない若い世
 代の交流が、国際間の理解を深め
 るための最良の方法であろうの言
 葉は、未来社会への展望と、未来
 への希望をあたたく感じます。

4月号に関してですが、「エト
 ランゼの輪郭」、西村先生のヒュ
 ーマニズムがにじみでている素晴
 しい「ジャン・メルオー神父」像
 と思います。

★文化で築く世界の平和★
 ★世界を結ぶ神戸っ子ネットワー
 ク★、すばらしい企画だと思いま
 した。たのしく拝読させていただきました。
 ありがとうございます。

季節の変わり目ですので御自愛

内容/阪神間の船旅と美味なホテ
 ルでのディナー
 行程/Aコース・大阪(弁天)16
 :30→神戸(中突堤)17:40→オ
 リエンタルホテル(ディナー)18
 :30→19:30以後自由行動
 Bコース・オリエンタルホテル(ディ
 ナー)16:30→17:30→神戸
 (中突堤)18:50→大阪(弁天)
 20:00以後自由行動
 ホテル特製生菓子「異人坂」のお
 土産あり。



沖縄の民俗衣裳

★マリナー沖繩3日間2泊3日の
 旅

くださいませ。

△宝塚市/丸本明子
 ★「神戸っ子」は、去年の11月よ
 り愛読しています。大好きなのは
 カラーのCMページで、毎月、目
 の保養をさせていたたいです
 さんの絵もステキだし、連載エッ
 セイの「元水定正」さんの挿絵も
 やさしめで、もちろんインタイヤ
 ーやら何やら活字も読ませていた
 だいております。エヘン!!ただ私
 のように神戸圏の人間でなく、神
 戸に通じていないものにとっては
 難しいページもあるなあというの
 が実感です。わからないなりに神
 戸を多く知って、ちゃんと活字の
 意味もわかるようになるならば、CM
 ページや表紙や挿絵とともに楽し
 い「神戸っ子」になると思います

△姫路市/大和園美
 ★映画ファンの方にぜひ来ていた

費用/¥54,800(神戸っ子
 持参の方¥49,800)(S.M.
 で参加できます)
 南部・中北観光¥62,800
 (神戸っ子持参¥56,500)(S.
 M.)

出発/5月⑤、⑥、6、13、20、
 27日、6月10、15、17、18、22、
 25、29日 ○印の日は¥10,000
 割引

お申込み・お問合せは関汽トラベ
 ル電話39114363/4
 ★ユニバーシアードカナダ大会
 友好使節団

期間/6月29日と7月12日
 費用/¥438,000
 募集人員/50名

内容/88神戸ユニバーシアード大
 会開催を控えた友好使節団派遣企
 画。ユニバーシアード見学、コロ
 ニア水原見学、スタンビッドで
 のカウボーイ大会、パンフではキ
 ャンプファイアあり。
 協力/日本航空、カナダ・アルバ
 ータ州政府

お問合せ・お申込みは神戸国際交
 流クラブ電話30213657

だきたくお便りさあげます。

シネ書誌館を既にご存知の方に
 は、昨年の住居移転でご迷惑をお
 かけしたことをお詫び致します。
 新しいルームは緑の小高い山や
 丘に囲まれた団地です。蔵書は大
 正から最近発売の本が約1000冊
 冊、雑誌は50種約3000冊、映
 画台本約120冊、ポスター、ス
 チール、パンフレットもございま
 す。ルームは無料で、朝9時から
 夕方6時まで開放しており、勿論
 入場料も無料。最後に第8回映画
 ファンのための「映画まつり」特
 別賞をいただきます。今年も楽しい年
 となりそうです。

〒654神戸市須磨区友が丘4-11
 北須磨団地D119112
 映画図書館資料室シネ書誌館
 電話79215527

△杉本誠之



快適な住まいへのインフォメーションNo.1

理想のキッチン。私たちは、システムキッチンという名の製品を買うのではなく、生活に根ざした目で使いこなすことから生まれる、と考えています。

住まいやインテリアへの関心の高まりに伴い、人気集中の感があるシステムキッチン。確かに明るく機能的。しかし、日本独特の食生活や炊事スタイルへの配慮が欠けたり、夢を追って実生活から遊離したりすると、「デザインは素敵だけど…」になってしまいます。その点、従来の「日本の台所」では、その家の生活ぶりと主婦のいわゆる「振舞」に合わせて、使い勝手が考えられていました。この「日本の台所観」をベースに、システムキッチンを取り入れるなら、まさに理想のキッチンが生まれるといえます。すなわち、日々の生活、特に食生活のスタイルに合わせて、機器を選び、レイアウトや動線をプランニングすること。それが、システムキッチンという製品を単に買うのではなく、自由に使いこなして「我が家のキッチン」を創る為のポイントと考えています。

快適さを支える部分にこそ注目していただきたい。ダイヤシステムハウジングは自信をもって住まいをお届けしています。



ダイヤ システム ハウジング 神戸

神戸市中央区磯辺通4丁目2-20(神戸ビル401) ☎(078)232-3281
夙川モザイクハウス/西宮市種/港町(夙川住宅公園内) ☎(0798)72-4041
千里モデルハウス/千里万博公園(千里住宅公園内) ☎(06)877-2718

本社 / ダイヤ システム ハウジング株式会社
尼崎市昭相南通3-11(第2松本ビル) ☎(06)413-2551代

快適な住まいへのインフォメーションをテーマに、12回シリーズで展開。私たちの住まいづくりの理念をご理解いただきたいと存じます。

キッチン
の青い鳥も、
身近な生活の中に
みつかります。



スポーツはすべて基本から

スクール生募集中心



只今、入会申込み受付中

入会金3,000円、年会費3,000円

- 剣道 ●杖道 ●居合道 ●空手道 ●合気道 ●小林寺拳法
- 太極拳 / ●ヨガ ●クラシックバレエ ●ミニバスケット
- 親子体操 ●幼児体操 ●婦人体操 ●バトントワーリング
- 小学生体操 ●ジャズダンス

まいあかれスポーツごころ

SPORTS CLUB ROKKO

六甲体育館

お問い合わせ・お申込みは 神戸市灘区新在家北町2丁目

☎078(841)1084

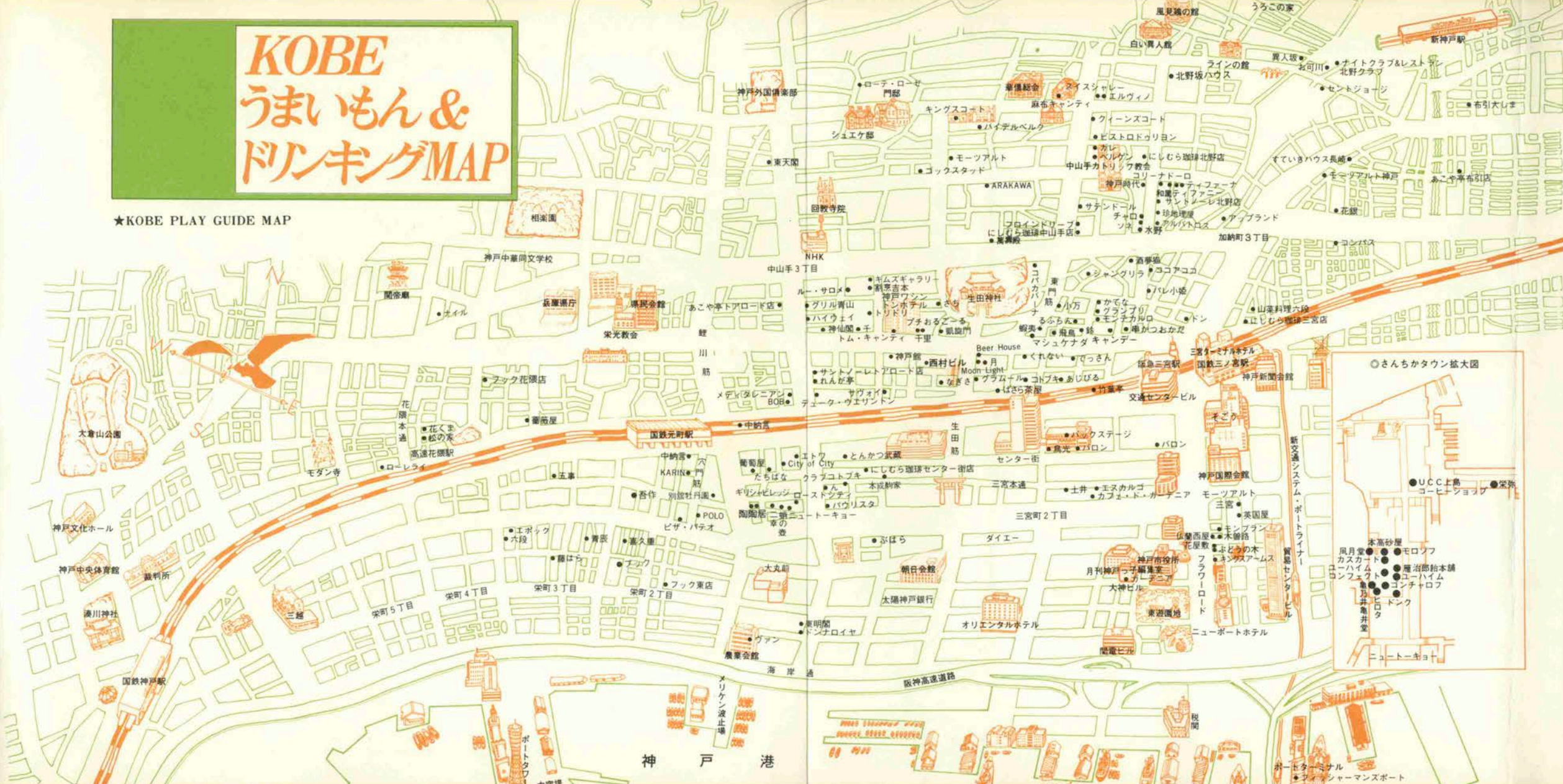


駐車場(100台)あり

KOBE

うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



A HAPPY WEDDING



♥ 恋人同志みたいな二人でいたい

森 雅彦・文枝さん夫妻

(昭和58年3月21日挙式)

於・神戸平安閣

(阪神電気株式会社勤務・神戸市東灘区在住)

六甲山カンツリーハウスへのドライブで知りあった二人。しばらくはぎこちないデートが続いたが、去年の夏、花火大会の夜に雅彦さんからプロポーズ。「いつまでも恋人みたいな夫婦でいたいな」と、意見は一致。「小さなことも相談しあって二人でつくる団らん」をめざして、ハネムーンはハワイへと旅立ってゆきました。

総合結婚式場



平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15

阪神／尼崎市昭通通5丁目182



神戸 ☎ (078) 351-3390



阪神 ☎ (06) 413-3303代

須磨の磯の香と味を贈る…



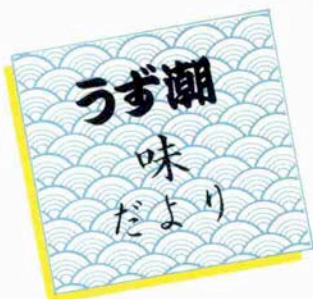
▲左から由利りつ子さん、道本定子支配人
心得、津田信基宮司 ▶会席料理/5000円

活魚料理
神戸市漁業協同組合直営

うず潮

〒654 神戸市須磨区須磨浦通1丁目1番10号

☎ 078(731)4622



活魚の味を生かす技の冴えに感激
お客様/長田神社・津田信基宮司

「うず潮」は歴史とロマンの地・須磨の海辺にあります。今日は、由緒ある長田神社の宮司・津田信基さんをお迎えしました。私は海外へ行く機会も多いのですが、魚料理はやっぱ日本が一番。ここは、神戸市漁業協同組合の直営だけにさすがに新鮮で美味しい」と活魚の味を生かす包丁さばきを絶賛する津田宮司。窓からは、緑の松林、白い砂浜、着い海と、雰囲気の良い素晴しさに味もいちだと冴えるようです。私も「フレッシユ」をチャームポイントに、これから頑張りたいと思います。(読売TV「おもしろサデーレポート」/由利りつ子)



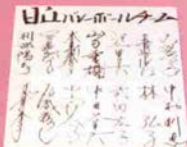
スポーツがある。語らいとくつろぎがある。



おめでとうございます。日立バレーボール部完全優勝。

日立が神戸で完全V

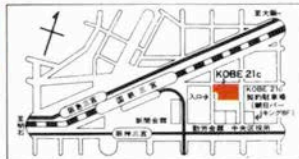
日立が全試合失セットなしの偉業を神戸で達成した。3月6日神戸中央体育館で行われた対久光製薬戦で、日立は3-0で勝ち、男女を通じて日本リーグ初の全試合ストレート勝ちの快挙を成し遂げた。全勝でのリーグ優勝は通算8度目、日立は2年連続の6度目となる。また自己のもつ連続ストレート勝ちを30に、リーグ連勝記録も42に伸ばした。その夜の祝賀パーティーでは、勝利の「重さ」をかみしめていた。
 <写真は喜びをわからあう日立バレーボール部のメンバー KOBÉ21Cで>



21世紀をクリエイティブに生きるためのメンバーズ・クラブ
KOBÉ 21c

●お問合わせ・お申込みは
 神戸市中央区雲井通5丁目3番 サンプル内
 KOBÉ 21c8F インフォメーションフロント

☎078-291-0210



※駐車場は3時間まで無料でご利用いただけます。



★オーダーメイド・紳士服

アダムG岡田巖

神戸国際会館3F(231)3575

初夏の装いは、色のきれいなネクタイで、彩りも鮮やかに、主張したいものアダムGで、お気に入りを見つけて！



★宝石・アクセサリ・バッグ

杏(アンス)

センタープラザ1F(332)3907

お客様で6周年を迎えました。今人気があるのは、10金とシルバーのコンビのネックレスやリング。小粋に！



★建具金物・家具金物・装飾金物・家庭金物

カギヤ金物店

トアロード(666)2625

玄関にきれいな音色のベル、食事前にも鳴らす食事のベル、色々なベルは生活に小さな喜びを与えてくれます。錠前・シャッターの取付・修理を承ります。



★画材・額縁

末積製額

トアロード大丸前(331)1309

画材の一揃い、春は屋外ヘスケッチに出たいもの。北野、神戸港、あなたなら、どこを描きにいきますか。



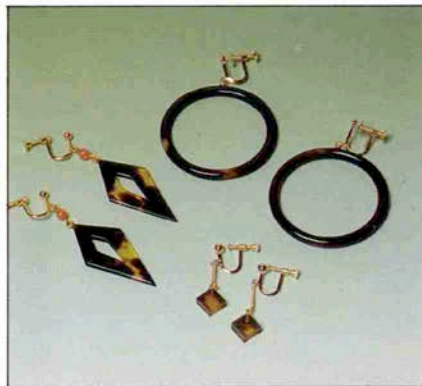
shopping

Early Summer Festival in Kobe

神戸がひとときわ輝く時



★オリジナルファッション・ブティック
魔女 大里最世子
中央区北野町4丁目異人館クラブ
(022)17773
パリやロンドンのレースを使った新しいデザインの楽しくロマンチックな大里最世子の世界は、とても魅力的。



★べっ甲
太田べっ甲店
元町一番街山側(331)6195
シヨートヘアには、思い切った大きなヘアリングを。ロングヘアからは、小さめの覗かせて。初夏のべっ甲。



★ウッドジョブ
パインズポート
中央区三宮町アロード(331)3755
ヨーロッパからやって来た、リビングッズ、インテリアグッズ、おもちゃなど、愛される良い品が揃いました。



★とんかつ
武蔵
三宮センター街(321)0634 水曜定休
三宮さんブラザB1(391)2427 月曜定休
11:30AM~8:00PM
やっぱりうまい、ムサシのとんかつ!



味わう婆娑羅お好み膳。お刺し膳と天ぷら膳の二種類あります。各膳とも5千円、4千円、3千円の三種類。

四季の味いろいろ

料理  婆娑羅
ばさら

阪急三宮駅西口北側レインボープラザビル2F
☎321-6363



チャレた雰囲気のおかげで、スイスの家庭料理はいかががスイスワインも、すべてそろっています。

 SWISS CHALEC
スイス シャレ

北野・異人館通り〈アニルマンション1F〉
☎221-4343 正午～10PM 月曜日



南太平洋に浮かぶ常夏の楽園、ポリネシア。その味覚を国際都市神戸のセンスで磨き上げました。ご賞味下さい

ロマンチックな港のレストラン
フィッシュマンズ・ポート

ポートライナー・ポートターミナル駅ビル内
☎331-0301～2 月曜日定休



民芸の館をしのばせる時代ものの調度品に囲まれて、ほっとひと息。名物うどんすき、しゃぶしゃぶをどうぞ！

肉のしゃぶしゃぶ、うどんすき

江戸屋敷 古もん

中央区山手通1-4-11 ニューゲートビル4F
☎331-0673 正午～9:30PM 第1、2、3日曜日

NIGHT IN KOBE

The moon is the same moon above you, aglow with its cool evening light
But shining at Night in Kobe, never does it shine so bright.

NIGHT IN KOBE

The stars are aglow in the heavens, but only the wise understand.
That shining at Night in Kobe, they guide you thru the seashore sand.



バラの花をあしらった洒落たインテリアとエキゾチックな白い壁に囲まれた<ROSE>3つのお部屋、お座敷もごさいます。カップルから、パーティまでお気軽にご利用ください。



しゃぶしゃぶの専門店
薔薇絵亭

中央区北長狭通 1-9-1 コトブキ三宮ビル4F
☎332-1410 PM5:00~PM11:30



Always Keep Drinking Spirits in Our Life./
Yes, The Drinking is My Way of Life-NOW.

PIANO HALL
BACKSTAGE

中央区三宮町1さんプラザ10F サンロイヤル
☎332-0230 第1,3月曜休
Coffee Time 11:00~6:00 Whisky Time 6:00~12:00



テニス仲間の二人、「北野町へショッピングに来る時はいつもサテンドールに寄ります」マスターとは古い友達とか。

JAZZ & WHISKY HOUSE

SATINDOLL

中央区中山手通1 富士産業ビル1F
☎242-0100 無休



甲南女子大出身のOL 2年生。「コロニア的なムードと陽気に過ごせて、仕事の気分転換に最高」と今夜も話に夢中。

COLONIA COPACABANA

コロニア コパカパーナ
中央区中山手通2 ニューサンコービル(赤い風車のあるビル)2F
☎392-2435

SWEET TOWN KOBE

5月の薔薇にケーキとお茶を



★北政の銘菓

ユハイムコンフレクト

中央区鶴内町1-18-23
☎24211164

快い春風とともに今年もさわやかな風味のデザートをお届けします。5月の陽さしの中、つめたく冷やしてお召しあがり下さい。



★スイス菓子

ハイジ

本社・神戸市灘区浜田町1丁目1-27
☎82210812

本店(水道筋)・六甲店・芦屋店・岡本店・そごう神戸店・阪急梅田店

スイス菓子・ハイジが贈る、オリジナルシヤベットの100%の自然と100%の技術が作り出した最高傑作です。



★坂道のテラス

アンテノール

神戸市中央区中山手通1 ヒルサイドテラス1F
☎24213979

北野坂のお洒落な手づくり洋菓子のお店。お茶とケーキが楽しめるティールームは若い女の子たちでいつも賑わっています。



★ウイーン菓子

モーツァルト神戸

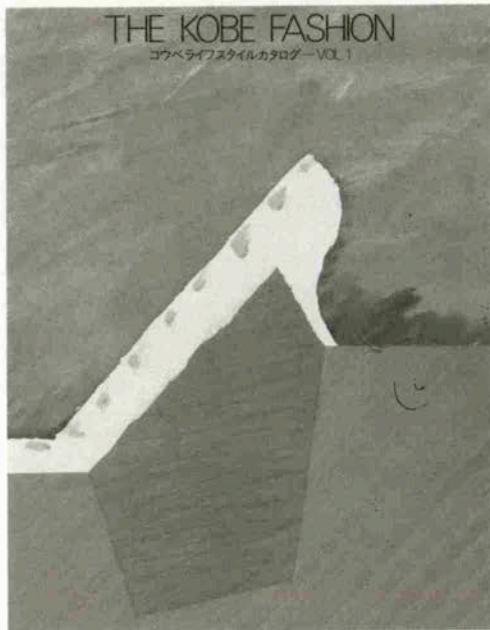
神戸市中央区布引町2-2-12
☎24213001
三宮店 ☎25113616

モーツァルトが流れるお洒落なティールームでウイーンのお菓子を。25種類の中からあなたのお好きなものをお召し上りください。



THE KOBE FASHION

●このカタログTHE KOBE FASHIONは“神戸”のいろいろな発信がこめられています。●神戸の風合い、神戸のファッションを気軽に楽しんでいただきたいのです。●応接間やダイニングルームに一冊置いていただいて、神戸の文化の爽やかな彩りの中に浸りながら、“神戸ブランド”の良さをしっかりと選んでください。●神戸の香が立ちこめるこのカタログであなたの生活がハイカラな神戸風になります。●THE KOBE FASHIONはファッション都市をめざす神戸のひとつの試みです。●いろいろな試みのなかから新しい文化が生まれて育ちます。●新しく誕生した文化にあなたの手をさしのべてほしいのです。●あなたの手が、声が、神戸の文化を創るエネルギーになり、神戸のファッションがまたひとつ年輪を刻み、光彩を放ちます。



表紙／早川良雄

ファッションステージ神戸を集大成 頁を繰るのが楽しみだ!!

定価700円(送料300円)

好評発売中

編集●月刊神戸っ子

発行●コミュニティサービス(株) 〒650 神戸市中央区江戸町100高砂ビル5F 078-392-0200

お問い合わせ・お申し込みは 上記コミュニティサービスまでお願いします。